



2001/12/19
北海道国際航空株式会社

[広報資料]

エア・ドゥ、平成 13 年度上期決算について

北海道国際航空株式会社（エア・ドゥ、代表取締役社長 石子 彭培）は、平成 13 年 12 月 19 日開催の取締役会において、平成 13 年度上半期決算を承認致しました。
詳細は下記のとおりです。

記

1. 営業実績

（単位：百万円）

	事業収益	営業総利益	営業利益	経常利益	中間純利益
平成 13 年度 上期	6,245 (140.7%)	368 (225.6%)	889 (79.2%)	1,198 (91.3%)	155 (11.8%)
平成 12 年度 上期	4,437	293	1,122	1,312	1,321
差 額	+1,807	+661	+233	+113	+1,165

()内の百分比率は対前年比

(セルフ エバリエーション)

営業総利益の初の黒字化：就航以来、半期ベース（6ヶ月間）及び通期ベース（1年間）で、初の黒字を確保致しました。

売上高営業利益率の改善：就航以来、初めて 20.0%を切り、14.2%と大幅に改善しております。

税引後損益の実質黒字化：営業外費用に計上しております開業費償却を勘案すれば、実質 66 百万円（ ）の黒字となります。

開業費償却 221 - 中間純損失 155 = 66 百万円

2. 業績等の概要

当中間会計期間における我が国経済は、アメリカ経済の減速による輸出・生産の大幅な減少と企業収益・設備投資の減少が一層進み、さらに雇用情勢の厳しさも相まって個人消費も弱含みの中、景気は一段と悪化の方向に推移いたしました。

北海道国際航空株式会社

本社:〒060-0001 北海道札幌市中央区北 1 条西 2 丁目 9 オーク札幌ビル7F TEL.011-252-5533 FAX.011-252-5580

東京:〒144-0041 東京都大田区羽田空港 3 - 2 - 6 カーゴセンタービル4F TEL.03-5757-4901 FAX.03-5757-4918

千歳空港支店:〒066-0012 北海道千歳市美々新千歳空港内 TEL.0123-45-6610 FAX.0123-45-6026

東京空港支店:〒144-0041 東京都大田区羽田空港 3-3-2 西旅客ターミナル 1F(羽田空港郵便局私書箱 109 号) TEL.03-5757-4921 FAX.03-5757-4926

札幌営業所:〒060-0062 北海道札幌市中央区南 2 条西 4 丁目 札幌地下街ポールタウン TEL.011-252-5538 FAX.011-232-1602

東京営業所:〒105-0013 東京都千代田区有楽町 2 - 10 - 1 東京交通会館 6 階 TEL.03-5220-6628 FAX.03-5220-6629

このような経済情勢の下、当社は平成13年1月に策定した「新生エア・ドゥの中期経営改善計画」の目標達成を目指し再建に取り組んで参りましたが、収入面では搭乗率の未達とバレーゲン型運賃にみられる他社の運賃攻勢による収入単価の下落等により事業収益が伸び悩んだこと、費用面では航空機整備費用が当初見込みを上回ったこと等により当初計画の達成が困難となったため、平成13年6月29日に改めて「新生エア・ドゥの新経営改善計画」を策定し、全社一丸となり目標達成に向け努力することと致しました。

また、平成13年8月にはグランドハンドリングの前倒し自営化を、また当初予定していた運航乗務員の自社養成化を延期するなど即効性ある費用削減策の実施を決断しました。

しかし、さらなる経営状況の悪化から北海道庁より多額の補助金交付を受けるに至り、民間企業としては自立するには至っていない状況でありました。

当中間会計期間における当社の運航実績は旅客数428千人（前年同期285千人）、利用率74.8%（前年同期66.3%）、就航率99.4%（前年同期99.6%）となりました。

事業収益は平成13年2月からの運賃改訂と通年2機体制のもと法人を中心とした回数券の販売強化・新規旅行代理店の開発等で6,245百万円（前年同期比140.7%）を計上いたしました。

一方費用面では、通年2機体制となったことによる費用増や航空機整備費用が当初見込みを上回ったものの、人件費の抑制をはじめとする費用削減に努めた結果、事業費は5,877百万円（前年同期比124.2%）、販売費及び一般管理費は1,257百万円（前年同期比151.6%）となり、通年運航となった第4期以降半期・通期ベースで初めて368百万円の営業総利益を計上することが出来ました。

この結果、営業損失は889百万円（前年同期比79.2%）、開業費償却の負担等により経常損失は1,198百万円（前年同期比91.3%）となり、これに特別利益として北海道からの補助金受入等があり、最終の中間純損失は155百万円（前年同期比11.8%）となりました。

3. 添付書類

中間貸借対照表（平成13年9月30日現在）

中間損益計算書（自平成13年4月1日至平成13年9月30日）

以上

北海道国際航空株式会社 第6期中間財務諸表
中間貸借対照表

(平成13年9月30日現在)

(単位：百万円)

【流動資産】

現金及び預金	663
受取手形	3
営業未収入金	860
棚卸資産	21
未収入金	991
前払費用	760
その他流動資産	36

流動資産計 3,338

【流動負債】

営業未払金	1,329
短期借入金	3,296
未払法人税等	5
前受金	527
その他流動負債	501

流動負債計 5,660

【固定資産】

有形固定資産	301
無形固定資産	88
投資その他の資産	
長期性預金	657
敷金保証金	989
その他	124
計	1,771

固定資産合計 2,161

【固定負債】

退職給付引当金	37
長期未払金	111

固定負債計 148

負債計 5,808

【資本金】

7,189

【欠損金】

前期繰越損失	6,679
中間純損失	155

欠損金計 6,835

【繰延資産】

開業費	663
-----	-----

繰延資産合計 663

資本合計 354

資産計 6,163

負債及び資本合計 6,163

北海道国際航空株式会社 第6期中間財務諸表

中間損益計算書

自 平成13年4月 1日
至 平成13年9月30日

(単位：百万円)

【事業収益】 6,245

【事業費】 5,877

営業総利益 368

【販売費一般管理費】 1,257

営業利益 889

【営業外収益】

受取利息 16

雑収入 37

合計 54

【営業外費用】

支払利息 23

開業費償却 221

新株発行費 1

その他 117

合計 363

経常利益 1,198

【特別利益】

北海道補助金収入 945

前期損益修正益 133

合計 1,079

【特別損失】

固定資産除却損 1

前期損益修正損 29

合計 30

税引前中間利益 150

法人税、住民税及び事業税 5

中間純利益 155

【参考】

1. 運航実績

	平成 13 年度上期	平成 12 年度上期	対前年比
提供座席数	572,633 席	403,971 席	141.8%
搭乗旅客数	428,285 人	285,832 人	149.8%
平均搭乗率	74.8%	66.3%	
運航便数	2,102 便	1,554 便	135.3%
運航率	99.4%	99.6%	
定時出発率	94.6%	95.3%	

2. 予実比較

平成 13 年度上期予実算比較

(単位：百万円)

	実績	予算	差異
事業収益	6,245	6,264	18
事業費用	7,134	7,217	82
営業利益	889	953	63
経常利益	1,198	1,174	24
中間純利益	155	282	126
中間未処理損失	6,835	6,961	126